

2-2

測定問題の設計と実施結果

(株)ベネッセコーポレーション小中学校事業部
アセスメント制作課 郡 宏暢

1 各教科問題の作成方針

今回の学習到達度調査は、各教科ごとに、基礎的な学力の定着状況と、応用する力や発展する力の伸びの状況を見ることができるよう設計している。各設問には、どの観点(評価の4観点である「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」

「知識・理解」のうち「関心・意欲・態度」を除く3観点)の到達度を測る設問なのか、どの学習内容(領域)の到達度を測る設問なのかを設定し、多面的に到達度を測ることができるよう設計している。

2 「活用に関する問題」の出題について

今回の学習到達度調査では、「活用に関する問題」を、各学年・教科それぞれの「応用する力」を測る設問群の中において、2～3設問程度出題した。

「活用に関する問題」は、「実生活の様々な課題解決の場面や想定される課題解決の場面において、身に付けた知識・技能等を活用し結びつけ、課題を発見し、解決方法・ステップを考察・実行するとともに、自分の考えや他の人の考えをわかりやすく表現することができる力」を測定することを目的としている。そこで提示される課題は、該当学年および前学年での学習・履修内容を基に思考をめぐらせることによって解決できる内容とした。各教科の出題内容は、次の通り。

【国語の出題内容】

素材となる文章(素材文だけではなく、図や表など、非連続テキストも含む)を読み取ったり、会話や発表を読み取り、その文の作者や登場人物の考えに立った考察や、自分なりの考察を行う内容とした。

【算数・数学の出題内容】

日常生活の場面や、これまであまり体験したことがないような架空の場面を設定し、その中で、算数や数学的な考え方・計算を使って、示されている課題に対して自分なりに考え、答えを求めていく内容とした。

3 実施結果

以下に、実施結果を示す。まず、次ページに、各学年・教科の平均到達度と度数分布のグラフを一覧にしている。これに続いて、次々ページからは各学年・教科別に、注目すべき設問についての分析と、実施結果の詳細を示している。なお、「平均到達度」と「通過率」の用語の意味については、次の〈説明〉で確認していただきたい。

〈用語の説明〉

※平均到達度…その集団における児童生徒の到達度(=その児童生徒が通過した問題数の割合をパーセ

ントで示したものを平均した数値のことである(100点満点として考えた時の「平均点」と同じ意味を持つ)。

※通過率……その問題の評価の観点から見て「満足できる」解答であった場合を「正答」とし、「おおむね満足」できる解答であった場合を「準正答」とする。その児童生徒の解答が正答または準正答である場合、その児童生徒はその問題を通過したとする。また、その集団において、その設問を通過した児童生徒の割合をパーセントで示した。

1 全体概要

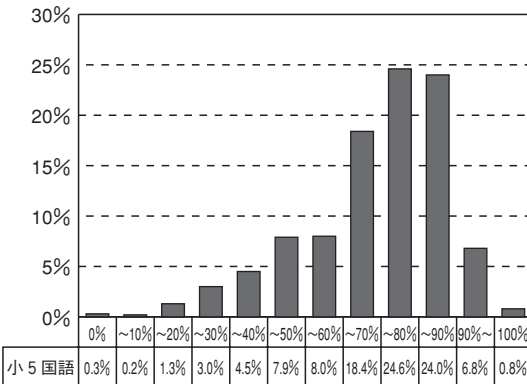
平均到達度 (%)

	小5	中1
国語	69.0	73.5
算数/数学	73.4	61.9

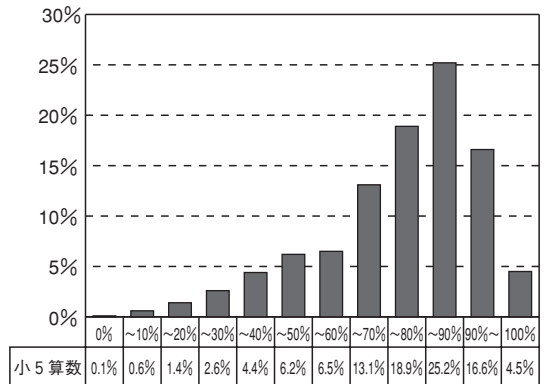
度数分布

【小5】

国語

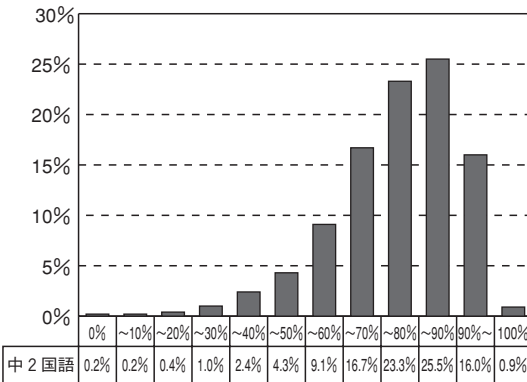


算数

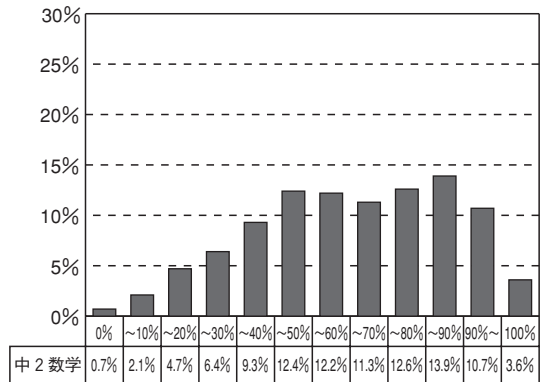


【中2】

国語



数学



2 学年別分析

【小5】国語

■平均到達度 (%)

教科全体	69.0	
基礎	74.7	
応用	51.7	
観 点	話す力・聞く力	91.0
	書く力	58.4
	読む力	59.0
	言語についての知識・理解・技能	68.2
領 域	音声言語	91.0
	説明的文章	63.6
	文学的文章	54.4
	言語事項	68.2

■分析

教科全体の平均到達度は69.0%となっている。

第2問(4)：説明的文章を読んで段落構成を答える問題では、通過率は30.1%で、他の設問と比較して低い。

第3問(5)：文学的文章を読んで背景や理由を答える問題では、通過率は41.1%で、無解答率は20.4%と高くなっている。

第10問(2)：身につけた知識・技能を活用し、文章を適切に書き直す問題では、通過率は27.6%と低くなっている。

以上のように、段落構成から文章の展開を読み取ったり、背景や理由を読み取ってまとめるなど、文章全体から読み取る力の定着が、やや低いようである。同様に、与えられた課題解決の場面において、解決のために必要な情報を読み取り、思考し、表現する力が弱いこともうかがえる。

■設問別解答状況

問題番号		出題内容	通過率 (%)	無解答率 (%)	基礎／応用	観点設定			領域設定			
大問	小問					話す力・聞く力	書く力	読む力	知識・理解・技能	音声言語	説明的文章	文学的文章
1	1	話の内容の聞き取り	90.0	0.3	基礎	●			■			
	2	話の内容の聞き取り	90.4	0.3	基礎	●			■			
	3	話の内容の聞き取り	93.7	1.1	基礎	●			■			
	4	話の内容の聞き取り	95.4	0.5	基礎	●			■			
	5	話の内容の聞き取り	85.3	0.7	基礎	●			■			
2	1	文脈に即した内容の理解と記述	87.1	3.4	応用		●	●		■		
	2	文脈に即した内容の理解	86.6	3.3	基礎			●		■		
	3	文脈に即した内容の理解	57.9	1.5	基礎			●		■		
	4	段落の関係の理解	30.1	3.3	応用			●		■		
	5	文脈に即した内容の理解と記述	56.4	6.2	応用		●	●		■		
3	1	文脈に即した内容の理解	51.3	19.3	基礎			●			■	
	2	人物の心情の理解と記述	76.5	10.4	基礎		●	●			■	
	3	場面の展開の把握	45.0	5.5	基礎			●			■	
	4	人物の心情の理解	58.2	7.4	応用			●			■	
	5	文脈に即した内容の理解と記述	41.1	20.4	応用		●	●			■	
4	1	漢字の読み (参加)	93.5	5.1	基礎				●			■
	2	漢字の読み (栄養)	92.2	5.5	基礎				●			■
	3	漢字の読み (浴びる)	93.6	5.1	基礎				●			■
5	1	漢字の書き (安全)	86.2	6.6	基礎				●			■
	2	漢字の書き (美しい)	74.3	6.7	基礎				●			■
	3	漢字の書き (決定)	65.6	12.9	基礎				●			■
6		同じ仲間の漢字 (かんむりとかまえ)	64.0	10.5	基礎				●			■
7		漢字辞典の使い方	37.0	8.0	基礎				●			■
8	主語	主語と述語の区別	69.5	10.1	基礎				●			■
	述語	主語と述語の区別	68.4	10.1	基礎				●			■
9		ローマ字の読み	52.8	32.4	基礎				●			■
10	1	人物の意見とその根拠の把握と記述	61.5	20.3	応用		●	●				■
	2	時系列を意識した読み取りと記述	27.6	28.6	応用		●	●				■

【小5】算数

■平均到達度 (%)

教科全体	73.4	
基礎	78.9	
応用	59.8	
観 点	数学的な考え方	66.6
	数量や図形についての表現・処理	70.7
	数量や図形についての知識・理解	79.2
領 域	数と計算	77.6
	量と測定	65.7
	図形	82.2
	数量関係	69.6

■分析

教科全体の平均到達度は73.4%となっている。

第4問1(2)：2次元表から必要な情報を読み取る問題では、通過率は57.2%とやや低い結果であった。無解答率は5.8%であった。表を使った問題を多くこなし、的確に読み取る力が求められる。

第6問(2)：数量を表した式を説明する問題。身につけた教科の知識・技能を活用して解く問題である。通過率は54.7%、無解答率は21.2%であった。基本的な数学的な知識に加え、考え方を論理的に説明する力が求められる。

以上から、必要な情報を読み取る力や、読み取った情報から考え方を組み立てる力、立式する力の定着が低いことが分かる。また、これらはいずれも課題解決のために求められる力であり、与えられた課題を、知識・技能を活用して解決する力の定着も、低い結果となっている。

■設問別解答状況

問題番号		出題内容	通過率 (%)	無解答率 (%)	基礎／応用	観点設定			領域設定			
大問	小問					数学的な考え方の表現・処理	数量や図形についての知識・理解	数と計算	量と測定	図形	数量関係	
1	1	小数の加法	60.2	0.2	基礎	●		■				
	2	小数の減法	78.7	0.5	基礎	●		■				
	3	3位数÷1位数の計算(あまりあり)	78.5	3.0	基礎	●		■				
	4	四則の混合した計算	75.6	1.8	基礎	●						■
	5	四則の混合した計算	63.8	2.7	基礎	●						■
2	1	分数の構成	82.8	1.8	応用		●	■				
	2	大きな数の構成	83.8	0.7	基礎		●	■				
	3	整数と小数の大小	85.7	0.5	基礎		●	■				
	4	四捨五入する位と概数	62.2	0.6	応用		●	■				
3	1	円の特徴	83.0	0.6	応用		●				■	
	2	球の直径と半径	90.7	0.8	基礎		●				■	
	3	正三角形の性質	93.7	0.6	基礎		●				■	
	4	二等辺三角形の作図	85.7	3.3	基礎	●					■	
	5	角度の測定	64.2	1.3	応用	●				■		
	6	1回転の角度を等分した角度	66.0	6.3	応用	●	●			■		
	7	適切な面積の単位	62.0	2.1	基礎		●			■		
	8	長方形の面積	73.7	5.6	基礎	●				■		
4	1 1	資料の分類整理	69.4	2.8	基礎		●					■
	1 2	2次元表のよみとり	57.2	5.8	基礎	●						■
	2 1	折れ線グラフのよみ方	84.0	4.1	基礎	●						■
	2 2	折れ線グラフのかき方	88.2	10.7	基礎	●						■
5	1	文章題：小数－小数	88.9	2.7	基礎	●	●		■			
	2 1	ともなって変わる2つの数	92.9	3.5	基礎	●	●					■
	2 2	ともなって変わる2つの数	35.2	14.3	基礎	●	●					■
	3	球の直径と箱の大きさ	57.8	5.5	基礎	●	●				■	
	4	正方形を重ねてできる図形の面積	62.7	9.4	基礎	●	●			■		
6	1	数量を式に表す	75.1	8.0	応用	●	●					■
	2	数量を表した式の説明	54.7	21.2	応用	●	●					■

【中2】国語

■平均到達度 (%)

教科全体	73.5	
基礎	80.1	
応用	59.6	
観 点	話す力・聞く力	88.3
	書く力	54.4
	読む力	62.7
	言語についての知識・理解・技能	76.4
領 域	音声言語	88.3
	説明的文章	64.9
	文学的文章	60.0
	言語事項	76.4

■分析

教科全体の平均到達度は73.5%となっている。

第4問(6)：説明的文章を読んで、要旨をまとめる問題では、通過率は55.8%と半数が通過していたものの、無解答率は33.0%と非常に高い。

第5問(5)：文学的文章を読んで、登場人物の言動から心情を読み取る問題では、通過率は44.9%であるのに対して、無解答率は34.0%と非常に高い。

第6問(2)：スピーチ原稿に適切な題をつける問題。身につけた教科の知識・技能を活用して解く問題である。通過率は32.1%と低くなっている。

文章を読んで、内容・要旨や主題・心情をまとめる記述問題の無解答率が10～30%程度と高くなっており、読み取った内容を整理して記述する力の定着が低いことがうかがえる。同様に、知識・技能を活用して課題解決を図る問題においても、低い結果となっている。

■設問別解答状況

問題番号		出題内容	通過率 (%)	無解答率 (%)	基礎／応用	観点設定				領域設定		
大問	小問					話す力・聞く力	書く力	読む力	言語に関する知識・理解・技能	音声言語	説明的文章	文学的文章
1	1	話の中心の聞き取り	95.1	0.4	基礎	●				■		
	2	意見の内容の聞き取り	87.2	0.3	基礎	●				■		
	3	意見の内容の聞き取り	81.2	0.5	基礎	●				■		
	4	意見の内容の聞き取り	90.7	3.5	基礎	●				■		
	5	意見の内容の聞き取り	87.1	0.5	基礎	●				■		
2	1	漢字の読み（薄める）	97.2	1.1	応用				●			■
	2	漢字の読み（胴衣）	93.4	3.7	基礎				●			■
	3	漢字の読み（獲得）	89.6	1.0	基礎				●			■
	4	漢字の読み（手揚げ）	93.5	1.3	応用				●			■
	5	漢字の書き（暮らす）	85.2	7.4	応用				●			■
	6	漢字の書き（翌日）	67.1	12.1	基礎				●			■
	7	漢字の書き（設立）	52.1	26.3	基礎				●			■
	8	漢字の書き（再び）	81.0	12.5	基礎				●			■
3	1	文節の区別	92.6	0.9	応用				●			■
	2 1	文の成分（主語・述語の関係）	66.3	1.9	応用				●			■
	2 2	文の成分（修飾・被修飾の関係）	78.4	2.0	基礎				●			■
	3	漢字の総画数（医）	59.4	0.8	基礎				●			■
	4	故事成語（蛇足）	83.6	0.9	基礎				●			■
4	1	文脈に即した指示語の内容の理解	93.3	2.6	基礎			●			■	
	2	文章構成の理解	44.8	1.9	基礎			●			■	
	3	文脈に即した内容の理解	74.5	14.7	基礎			●			■	
	4	文脈に即した内容の理解と記述	45.4	18.5	基礎	●	●				■	
	5	文脈に即した内容の理解	75.8	2.4	基礎			●			■	
	6	要旨の把握と記述	55.8	33.0	基礎	●	●				■	
5	1	場面の理解	24.8	11.0	基礎			●				■
	2	心情の理由の理解	83.1	3.1	基礎			●				■
	3	文脈に即した内容の理解	74.2	3.6	応用			●				■
	4	人物の心情の理解と記述	73.3	11.7	応用	●	●					■
	5	人物の心情の理解と記述	44.9	34.0	応用	●	●					■
6	1	文脈に即した内容の理解と記述	74.8	8.4	応用	●		●				■
	2	適切な題の理解と記述	32.1	14.0	応用	●		●				■

【中2】数学

■平均到達度 (%)

教科全体	61.9	
基礎	64.4	
応用	49.5	
観 点	数学的な見方や考え方	50.2
	数学的な表現・処理	56.9
	数量、図形などについての知識・理解	79.3
領 域	数と式	69.0
	図形	54.1
	数量関係	55.3

■分析

教科全体の平均到達度は61.9%となっている。

第5問(1)1: 具体的事象から1次方程式を作る問題では、通過率は28.5%、無解答率は32.3%となっている。文章から読み取った内容を、文字を使った式に表すことが苦手であることがわかる。

第6問(2) : 方程式を解くための工夫を説明する問題。身につけた教科の知識・技能を活用して解く問題である。通過率は53.9%、無解答率は25.8%であった。

以上のように、計算問題などでは比較的高い通過率となったが、立式する力や、考え方を説明する力の定着が低いことが分かる。日常の実際的な場面において、数学的な知識・技能を活用して課題を解決する力の定着が低いことも、あわせてうかがえる。

■設問別解答状況

問題番号		出題内容	通過率 (%)	無解答率 (%)	基礎／応用	観点設定				領域設定		
大問	小問					数学的な見方や考え方	数学的処理	数学的な表現・ついでに知識・理解	数量、図形などに	数と式	図形	数量関係
1	1	負の数の説明	88.7	0.7	基礎			●	■			
	2	絶対値の理解	84.5	3.2	基礎			●	■			
	3	文字式の表し方	68.3	3.4	基礎			●	■			
	4	1次式の項	74.8	6.3	基礎			●	■			
2	1	正の数・負の数の減法	94.9	1.2	基礎		●		■			
	2	累乗の計算	60.5	1.6	応用		●		■			
	3	正の数・負の数の四則混合計算	82.1	2.3	基礎		●		■			
	4	1次式の計算	71.6	4.8	基礎		●		■			
	5	式の値	81.4	8.9	応用		●		■			
	6	1次方程式	82.1	7.5	応用		●		■			
	7	1次方程式	48.1	20.2	基礎		●		■			
3	1	線対称な図形	83.4	1.3	基礎			●		■		
	2	点対称な図形	90.8	2.6	基礎			●		■		
	3	正四角錐の体積	47.9	10.3	応用		●			■		
	4	円柱の表面積	26.3	14.4	応用		●			■		
	5 1	おうぎ形の弧の長さ	42.9	29.4	基礎		●			■		
	5 2	おうぎ形の面積	39.2	30.9	基礎		●			■		
4	1	座標の理解	89.7	2.0	基礎			●			■	
	2	比例の式	50.5	16.1	基礎		●				■	
	3 1	比例の式の x の値	37.8	18.7	基礎		●				■	
	3 2	比例のグラフ	36.1	21.9	基礎		●				■	
	4	反比例のグラフの式	64.9	4.8	基礎		●				■	
	5	反比例の式	67.6	5.4	基礎		●				■	
5	1 1	具体的事象から1次方程式をつくる	28.5	32.3	基礎	●				■		
	1 2	具体的事象から1次方程式を解く	40.9	27.4	基礎		●			■		
	2 1	具体的事象と反比例	41.9	25.2	基礎	●					■	
	2 2	具体的事象と反比例	53.9	21.6	応用	●		●			■	
	3	回転体の体積	48.5	20.3	応用	●	●			■		
6	1	方程式を解くための工夫	74.6	12.9	応用	●				■		
	2	方程式を解くための工夫	53.9	25.8	応用	●				■		